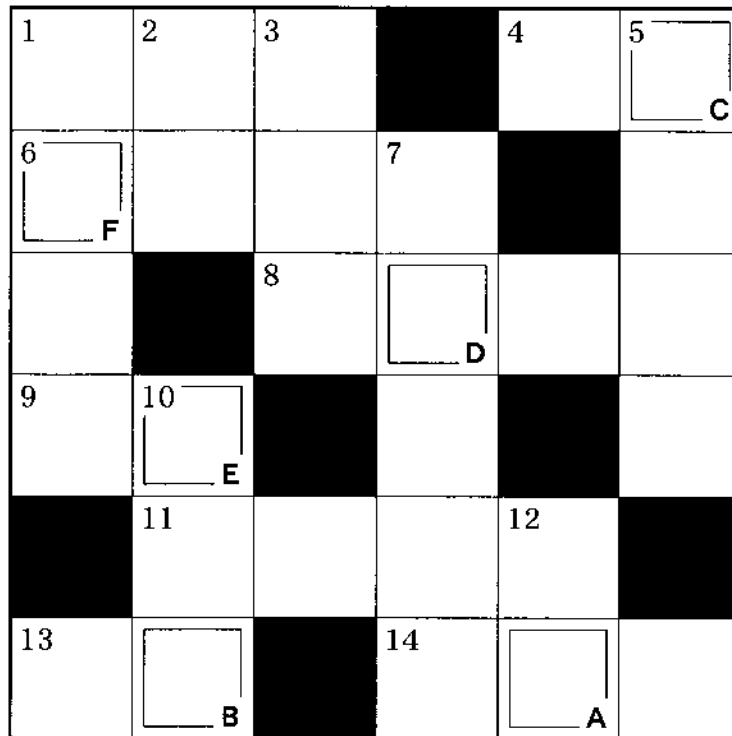


クロスワードに挑戦!!

アルファベット順に字を並べると、
答えが出てきます。



ヨコのカギ

- 1 ある事や物のあいだ
- 4 南に向かって右の方
- 6 アルカリ金属元素の一つ
- 8 大豆のまだ青いうちに取ったもの
- 9 高知は土佐、愛媛は〇〇
- 11 半分こわれること
- 13 人の悪夢を食べると言われる動物
- 14 身にまとうもの



タテのカギ

- 1 突き出た口で細長い舌を使う動物
- 2 自然数で最初の数
- 3 ちょうど上
- 5 自分の氏名を書くこと
- 7 役に立たない事に使うこと
- 10 残っている部分
- 12 恐れおののくこと

こたえ

A	B	C	D	E	F

地域包括支援センターは
高齢者の身近な相談窓口として、
高齢者が住み慣れた地域での
生活を支援しています。

介護や生活でお困りの方は
気軽にお電話ください！

松山市地域包括支援センター東・拓南
☎ 089-915-7760

高齢者の方の相談に応じています。例えば…

- 介護保険サービスを利用したい。
- 施設について教えてほしい。
- 認知症の講座をしてほしい。
- 一人暮らしの高齢者の方がいて心配…。
- 体操ができる場所、気軽に集える場所を教えてください。
- お金の管理が難しくなってきた。成年後見制度について知りたい。
- 近所の方が悪質な訪問販売に騙されているようだがどうすればいい？……等々

八坂福祉だより

編集・発行
八坂地区社会福祉協議会 会長 河端 美知子

八坂地区の人口 (R4.2.1現在)

- 人口 4,728人
(男 2,132人・女 2,596人)
- 65歳以上の高齢者 1,587人
(男 600人・女 987人)
- 高齢化率 33.5%
- 世帯数 2,966世帯

共同募金のお礼 温かいご支援ありがとうございます。

令和3年度共同募金報告

募金目標額 832,400円

募金実績額 839,130円

町内募金	1,632件	701,330円
個別募金	62件	137,800円
内 訳	病院 7件	20,000円
	会社・商店 29件	80,000円
	団体 5件	16,800円
	個人 21件	21,000円



共同募金還付金は以下の地区団体への助成金として地域福祉の充実に役立たせていただきます。

団体名	項目
東・西・東築山・西法寺	いきいきサロン
高齢クラブ	高齢クラブ育成
民生委員児童委員協議会	調査・相談・啓発
八坂地区地域連絡会	地区連絡会 活動助成
更生保護女性会	更生保護活動助成
地区高齢者みまもり員	独居高齢者見守り
婦人会	婦人ボランティア
八坂小学校	福祉研究委嘱校
八坂公民館	地区福祉活動助成
児童クラブ	児童クラブ助成
協力会員会	地域福祉サービス事業
日赤奉仕団	日赤奉仕活動
一人暮らし高齢者訪問活動	在宅老人福祉

令和3年度表彰者

今年度は8名の方が表彰されました。
受賞された皆様おめでとうございます。

厚生労働大臣表彰

共同募金運動奉仕者 河端 美知子

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

永年勤続民生委員児童委員 村上 美知子

山野内 貢

松山市市長表彰

地域福祉活動功労者 井門 周子

田岡 絹子

松山市社会福祉協議会会長表彰

ボランティア活動功労者 森 松 絢子

松山市民生委員児童委員協議会会長表彰

優良民生委員児童委員 大野 照美

黒田 道子

八坂地区地域ケア会議を開催しました！

～松山市地域包括支援センター東・拓南～

令和3年11月に、「八坂地区の健康課題について、地域でできる取り組みを考える」というテーマで、地区の役員と保健福祉行政等関係者の方々にたくさんのご意見をいただきました。

八坂地区ってどんなところ？ ～データから見てきた八坂地区～

資料提供：松山市国保年金課

1. 人口・世帯 (R元年度)

* 高齢化率 (%)

松山市	八坂地区
28.0	33.3

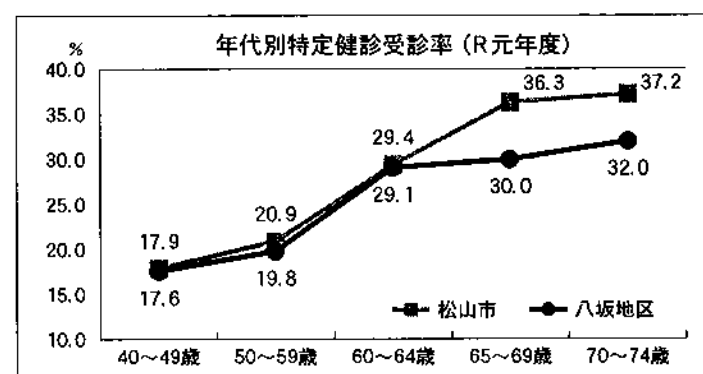
* 1人世帯の割合…62.6%

【八坂地区の特徴】

- 1人世帯の割合が高い
- 65歳以上の高齢者の割合が市平均より高い



2. 特定健康診査（健診）の状況



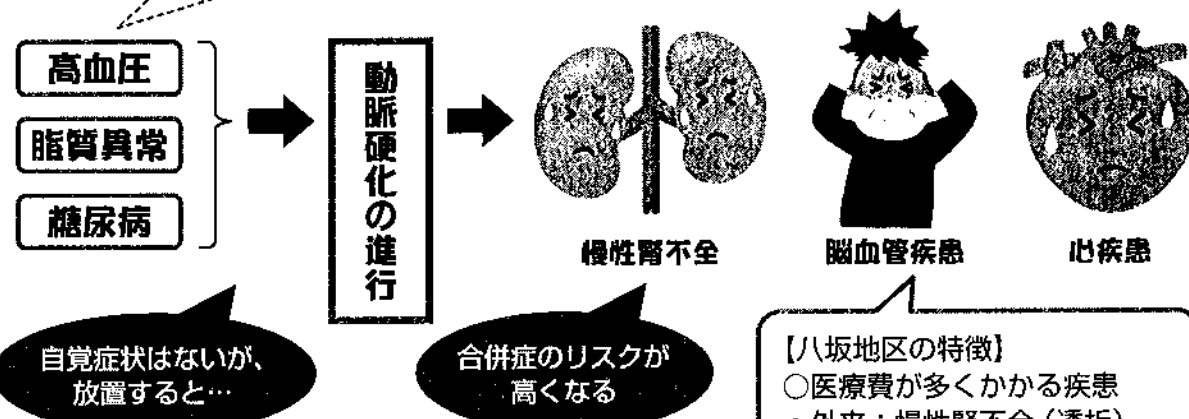
【八坂地区の特徴】

- 40・50歳代の受診率が低い
○65歳以上の受診率が
伸び悩んでいる



《八坂地区で有所見（異常のある所見）者が多かったのは…》

- ① LDLコレステロール(悪玉コレステロール)
- ② HbA1c(糖尿病の指標)
- ③ 収縮期血圧



**健診を受けて生活習慣病の
早期発見、早期治療を！**

【八坂地区の特徴】

- 医療費が多くかかる疾患
- ・外来：慢性腎不全（透析）
 - ・入院：脳血管疾患・心疾患



地域ケア会議ではこんな意見をいただきました！

できていること

コロナ禍でもサロン活動が再開した時は…

「短時間でもみんなの顔を見ると元気が出た」「ちょっとした雑談が楽しみで大切」
「体操して気持ちよかった」という声があった。

公民館と学校のつながりが強く、地域全体で子供達を見守り育てるという地域。
そのためにも高齢者の力が必要。

地域の役員さんが熱心で、八坂地域を見守る役割ができています。

心配なこと

コロナ禍で、骨折をして施設入所した高齢者の相談が増えた。

高齢化で、地域の役員などのお世話役の後継者が不足している。

健診受診率が低い原因として、「仕事が不規則で受診が難しい」「保健福祉サービスへの関心が低い」といった人が多いのでは？

していききたいこと

健康寿命（元気で長生き）の啓発が大切。

コロナ禍だが、少しずつでもサロン等地域での活動を継続していくことが大切。

今まで以上に健康問題に関心を持ち、地域に情報発信していきたい。
健診等の周知は全戸配布がいい。

地域役員やサロンの参加者等が、横のつながりで、外に出てこれない人とのつながりをつくってほしい。

八坂地区をよりよい地域にしたいとのご意見を多数いただきました。
今後も地域の健康課題の解決に向けて、活動へのご協力をよろしくお願いいたします。